

モバイルオーダーシステム「ぐるなびFineOrder」 グルメ杵屋での導入が100店舗以上へ拡大

～お店のコンセプトを自由に表現できる「Premium UI/UXプラン」を全国初導入～

<公式ページURL> <https://pro.gnavi.co.jp/fineorder/>

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎）が提供するモバイルオーダーシステム「ぐるなびFineOrder」が、株式会社グルメ杵屋（本社：大阪市、代表執行役社長：椋本充士）により、全国100店舗以上へ導入が拡大されました。

■導入拡大の背景

グルメ杵屋では、「おもてなしで付加価値の創造を紡ぐ」というグループビジョンを、現代の社会課題やお客様ニーズに即した形で再定義すべく、DXを全社的に推進しています。「DXは単なる効率化の手段ではなく、“おもてなし”の価値を新たな形で届けるための戦略」と捉え、まず着手したのがモバイルオーダーの導入でした。

2023年8月に、若年層のお客様が多い韓国料理業態で「ぐるなびFineOrder」を試験的に導入し、利便性の高さや現場でのオペレーション負担軽減といった効果が確認されたことから、2024年3月には約30店舗まで拡大しました。さらにモバイルオーダー定着化に向けたぐるなび独自の研修支援などにより、空港や都心部の繁盛店にも展開を拡大し、検証と拡張を進めながら2025年3月末には100店舗以上へ導入を拡大することができました。また、動画やテーマカラー設定、レイアウトデザインなどでお店のコンセプトを自由に表現できる「Premium UI/UXプラン」を全国で初めて導入し、メニューのこだわり・魅力などをモバイルオーダーから発信するなど積極的な活用を推進しています。

■今後の展望

グルメ杵屋グループは、2025年3月末時点で全国375店舗を展開しています。今後も、モバイルオーダーの適用を見定め拡大を進めていく予定です。また、モバイルオーダーや店舗DXを推進するとともに、モバイルオーダーを通じて得られた顧客データを、CRMやプロモーションにも活用していく予定です。

大阪・関西万博により増加する外国人観光客への対応として、多言語メニュー整備も重要課題となっており、「多様なニーズに即したおもてなし」を実現するプラットフォーム構築を目指していきます。

ぐるなびは、「食でつなぐ。人を満たす。」という存在意義（PURPOSE）のもと、事業を推進しています。今後も「ぐるなびFineOrder」の可能性を広げ、持続可能な社会を支えるインフラへと発展させるために、「飲食店DXのベストパートナー」として、さらなるサービスの拡充を図ってまいります。



株式会社ぐるなび 代表取締役社長 杉原章郎コメント

「グルメ杵屋様から『メニューの見栄えを良くしたい』というご要望をいただき、動画なども活用できるリッチなUI/UXへと開発を進めました。現場の声をもとに改善することで、DXはさらに進んでいくものだと感じます。」

株式会社グルメ杵屋 代表執行役社長 椋本充士氏コメント

「モバイルオーダーなどでDXを推進しながら『何を以てお客様に価値を提供するのか』を常に考える必要があります。便利な部分と人間らしさや温かみを残す部分の両軸で、お客様に価値を提供していきます。」

両社長対談をぐるなび公式noteで公開しています。

https://note.com/gnavi_official/n/nbc5a69c2ceca

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ぐるなび 広報グループ MAIL:pr@gnavi.co.jp